

～最終家族例会は球磨川下りで～



九州地方が梅雨に入ったばかりの6月6日、恒例の最終家族例会を熊本県人吉市翠嵐楼で行った。生憎の天候であったが、川下りの間は初夏の陽がふりそそぎ、汗をかき程であった。



平成16年  
6月25日号  
通巻第23号  
PR委員会発行

盛り上がった楽しい一日だった

バス二台を連ねて一路人吉市へ。バスの中はそれぞれの三枚目役者がいて、大賑わい。冷たいビールに酔い、イイ気分。昼食の翠嵐楼では、名物の鮎の塩焼きに球磨焼酎、家族共々の例会は、大いに

【新年度の為の合同委員会】

6月4日、次期委員会活動の基本を計画するための合同委員会が多数の会員の出席のもと何う一年間の事業計画が練られた。年々少なくなる予算の中で、いかにクラブの活動をやっていくか。それぞれの委員会で知恵を出された。

【台北市華興獅子会第十代会長

「游本海」逝去される

6月6日、華興獅子会チャーターメンバーである、「游本海」が台湾で亡くなられたと、日本へ嫁いできている娘さんから、川嶋会長へ連絡があったと、例会時に報告があった。「葬儀は、6月20日。

心から、「冥福をお祈りいたします。合掌

故「游本海

一九三七年十二月十一日生まれ  
享年 六十六歳

一九七二年

台北市華興獅子会チャーターメンバーとしてライオンズクラブ入会

一九八一年～一九八二年

第十代会長

~~~~~

犬声狎語

書くまいと思っただけ、つい書いてしまった。「かわら版」も今期これが最終号。発行する方は誰か読んでいてくれるのだらうかと思っただけ、会長の話だと、あつちこちの他クラブでは人気があるとのこと…。LC内では宗教やイデオロギーのことは「法度になっ

ているが、この犬声狎語の欄はお咎めなして今日まで続いている。そういうことを書いてやイカンというのは人間否定しやなかるうかと筆者は思っている。戦後のイラクは増々混乱の度を深めている。とうとう同胞二人の死者まで出た。これからイラクはどうなっていくのかわけられん。日本の国内にもアルカイダの組織があったと国民は愕いている。一九九一年七月、筑波大学の教授が構内で殺された。ラシュデの「悪魔の詩」を日本語に翻訳したとして、イランの最高指導者ホメイニに死刑宣告を受けていたからであった。犯人は今だ見つかっていない。イスラム原理主義者の犯行であることは間違いない。つまり、十三年も前に「テロ」は日本でも起きていたのだ。その時は政府も国民もまだ関心がなかった。やっと日本にもツケが回ってきた。やっぱり天災は忘れた頃に来るのか……。曾我ひとみさんの家族のことが問題になっている。テレビでは誰も本心のことを言おうとしない。世論が恐いのである。我々日本人はいつもカッコいい勝馬に乗ろうとするのだ……。ゼンキンス氏は米軍の脱走兵で他にもいくつか背任行為がある米兵である。どの国の軍隊でも脱走という罪は重罪である。そんな脱走兵に特赦をなんていったってアメリカはそんなに甘くない。日本はそんなゼンキンス氏の家族を救えと必死である。落ち付く先が決まるまで政府は全部面倒を見ようとしている。ことほど左様に日本は博愛心に富んだクニでありマス。政府もあんまり甘いと世界中からナメられまっせ。